



堺南・堺東南・堺清陵・堺北 RC

4クラブ合同例会

記念週報

開催日：2016年10月13日(木)

開会点鐘：18:00～(受付17:30～)

会場：ホテル・アゴーラリージェンシー堺
3階「ガーデンコート」



ROTARY
SERVING
HUMANITY



プログラム

◆ 第1部 ◆

開 会 18:00
 司会 木畑 清SAA(堺北 RC)
 点 鐘 富永 泰示会長(堺南 RC)
 国 歌 「君が代」
 ローターソング 「奉仕の理想」
 お客様紹介・ガバナー補佐紹介・各クラブ会長、幹事紹介
 木畑 清SAA(堺北 RC)
 出席報告 西内重広親睦活動委員長(堺清陵 RC)
 会長の時間 富永 泰示会長(堺南 RC)
 幹事報告 各クラブ幹事
 SAA報告 木畑 清SAA(堺北 RC)
 卓 話 上松瀬 洋ガバナー補佐(堺東 RC)
 点 鐘 富永 泰示会長(堺南 RC)

<10月13日(木)の出席報告>

堺南 RC 出席会員 8名
 堺東南 RC 出席会員 7名
 堺清陵 RC 出席会員 20名
 堺北 RC 出席会員 23名
 お客様 1名
 米山奨学生 2名

◆ 第2部 ◆

開 会 18:40
 総合司会 山ノ内 修一会員(堺北 RC)
 開会の挨拶 梅香路 正会長(堺清陵 RC)
 乾 杯 黒田 征樹会長(堺東南 RC)
 会 食
 アトラクション
 「ランプリング・フェローズ」
 閉会の挨拶 堀畑 好秀会員(堺北 RC)
 20:25 「手に手つないで」
 ソングリーダー 山ノ内 修一会員(堺北 RC)
 閉 会 (20:30)

会長の時間

「4ロータリークラブ合同例会に寄せて」

富永 泰示 会長（堺南RC）



4クラブ合同例会、堺東南クラブ・堺北クラブ・堺清陵クラブ・堺南クラブで初めての試みですが、沢山の皆様に出席を頂きありがとうございました。

今回の合同例会は堺北クラブの宇瀬さんの誘いで実施する事が出来ました。

同時に実施するに当り、堺北クラブさんに全てお世話になりました。事務局を含め何かとありがとうございました。

日頃、クラブの運営にドタバタと時間を費やしている中、他クラブの情報は断片的には入って来ますが、確実には解りづらいもので、今回こうした合同例会と懇親会の場で、各クラブの活動や、情報を交換しつつ、社会奉仕の合同も良いでしょう、親睦会の合流もまた良いかもしれませんし、それらの事がクラブの活性化へと結び付けられたら、例会であれ、懇親会であれ、意義あるものと思っております。

今日は短い時間ですが、皆さんとの親睦を深め、合同例会を楽しめましたら幸いです。機会がありましたら、再び例会を行いましょ。

卓話の時間

ひなたやま しゅじゅ
「日当山 侏儒どん」

RI 第2640 地区ガバナー補佐

上松瀬 洋 様（堺東RC）



日当山侏儒どんの伝説

鹿児島県の霧島市隼人日当山（きりしましはやとひなたやま）地域に残る頼知英才の名人、日当山侏儒どんは本名を徳田太兵衛といい、地頭として日当山の侏儒どんと呼ばれ地域の人々に愛されていたそうです。

非常に小柄な地頭さんで、地域の人々や薩摩藩の殿様からも非常に愛されていました。頭の回転が早く、男気もあり、常にトンチを効かして笑いに変える剛毅でありながら、愛嬌のある人物だったそうです！薩摩藩主 18 代島津家久に仕え殿様とのとんち合戦逸話が多数伝承されています。侏儒とは、小人を意味する言葉で侏儒どんは背丈が九十センチしかなかったといわれています。

現在の日当山には「日当山侏儒どん」の功績と伝説をたたえて、「日当山侏儒どん通り」「日当山侏儒どん橋」「日当山侏儒どんの石像」など多くの足跡と口伝や書籍による頼知話が残されています。

豊臣秀吉の朝鮮出兵で恐ろしいほどのチカラを振るった薩摩藩主 18 代島津家久は、チカラ、武力もさることながら、薩摩の平定をするためにかなりワンマンな殿様だったようです。そのワンマンさと、剛毅な性格の殿様に様々な進言をする配下の家臣は少なかったようです。

日当山侏儒どんは、その小柄なカラダに合わぬ性格と明晰な頭脳、ユーモアのある頼知で、島津家久の進言をしたり、下々のことをそれとなく伝えたりしました。島津家久も

その体躯に合わぬ男気と勇気、頭の回転の速さを非常に重用し、お側にちよくちよく呼ばれました。

日当山地域では、ワンマンな島津の殿様に自分たちの苦勞や大変さを進言するだけでなく、地域の地頭として農民や商人の心をガッチリ掴んでいた素晴らしいお武家様だったと今でも口伝、書籍に残されています。

ある事で褒美をもらうことになった日当山侏儒どん。

「殿、お約束の褒美は？」

「おう、そちの褒美はなにがよい？」

「私はお金にはかわれないものが欲しゅうなりました。」

「うむ、ではなにがのぞみじゃ？」

「殿、もし許されるならば、重臣たちの評定の場にて、殿のお耳のにおいをかがして欲しいのでございます。」

「なに、予の耳のにおいをかぎたいじゃと？欲のない奴じゃのう。よし、許してやろう！」

ということでお許しがでた。

それからは重臣たちの評定があるたびに、侏儒どんは殿の耳のにおいを嗅ぐのであった。すると！どういうことか、重臣たちはこっそり侏儒どんの家に贈り物を届けるようになった。

要するに自分たちのワイロや女性とのいざこざなどを内密にしておいてもらうための「もみ消し料」だった。

侏儒どんはそれが届くたびに殿様の耳に入れた。

それを聞いた殿様、ついに腹を立て「太兵衛、世の中がこんなにけがれ多きものとは知らなかったぞ！」と憤慨されました。

「おわかりいただけもしたか。」

「うむ、このままではすむまい。いずれ厳罰にせねばなるまい。」

「殿、厳罰だけが世を清くする道ではございもはん。（ございませぬ。）」

『清につかず濁をおそれず、濁りてしかもけがれざるもの、これ大徳なり』と、教えがございませぬ。」

「うむ、濁りてしかもけがれず・・・か！」

「はい、殿がこの濁りの下情に通じていただいたことで、藩政はすでに清まりもした。（ました。）ご心配はいりもさぬ。（いりませぬ。）殿、徳はやすく大徳はかたし、と申します。」

そう進言すると侏儒どんは殿様のまえに両手をついて無礼を謝したのである。

だが殿様はさすがにニッコリとして

「太兵衛、またたまには予の耳のにおいを嗅いでくれよ」

「はい、恐れ入ります。しかしここ当分はお耳のにおいを嗅がなくてもよろしゅうございませぬ。」

ご褒美に殿様の耳の臭いを嗅ぐことを許されたことで、実際は何もしていないのに、侏儒どんが自分の悪事を殿様の耳に進言しているのでは・・・と勘ぐった重臣たちが侏儒どんに贈り物をする・・・。何もせず殿様の耳のにおいを嗅いでいるだけで、悪事や不正がドンドン明るみにする侏儒どのアイデアですね。

しかも、『清につかず濁をおそれず、濁りてしかもけがれざるもの、これ大徳なり』と不正や悪事を働いていた重臣たちを罰せないように殿様に進言しているところもすごいで

すね。

生きていれば多少の汚れ・汚さ、ずるがしこさは必要。が、それにおぼれて悪に染まっ
てはいけない。清らか過ぎても人は成り立たないが、正義の心を忘れてはならない。そ
れが政治であり、人の上にたつものの心意気、「濁りてしかもけがれざるもの、これ大徳
なり」ということなのでしょう！今の政治の不正の話にも通じるものがありますね。



日
当
山
侏
儒
ど
ん

S A A 報 告

堺南ロータリークラブ

本日の4クラブ合同例会、沢山の出席ありがとうございます。
何から何まで準備して頂いた堺北クラブに感謝します。

堺東南ロータリークラブ

4クラブ合同例会開催おめでとうございます。4クラブますますの発展を祈念致し
ます。

堺清陵ロータリークラブ

4クラブ合同例会 お祝い。今後とも宜しく申し上げます。

堺北ロータリークラブ

4クラブ合同例会の盛会と皆様のご健勝を祈って。

第 2 部 開会の挨拶

梅香路 正 会長(堺清陵 RC)



ロータリーの皆様、こんばんは。堺清陵RC会長の梅香路 正です。どうぞよろし
くお願い致します。

堺南RC、堺東南RC、堺北RC、堺清陵RCの合同例会を設けて頂き、誠に有難う
ございます。

先日ガバナー訪問があり、福井ガバナーから4クラブ合同例会は、大変いいことだと
仰っていただきました。

ここ数年、当地区ではいろんな事もあり、出来るだけ多くの会員同士の対話が必要と言
われています。会員増強・退会防止もままならない状態で、会員数減少の傾向にありま

す。

考え方は人それぞれですが、お互いに協力し合える事があれば、共に活動出来ればと思っております。

この後、堺清陵RC会員の吉田さんが所属するジャズバンドの演奏を、お楽しみいただき和気藹々にご歓談いただきたいと思いますと思っております。

乾杯の挨拶

黒田 征樹 会長(堺東南RC)



入会させていただき、まだ4年のロータリアンでございます。少し前、地区がダッチロールしたような話を伺っておりますが、これからは、こういう前を向いた楽しい合同例会をどんどん開催していき、出会いと繋がり場の場を以て、ロータリーの本来の姿を作り上げてゆく事が必要だと感じております。

4クラブの益々のご隆盛と共にここに参加された皆様のご健康ご多幸を祈念いたしまして、乾杯！！



閉会の挨拶

堀畑 好秀 会員(堺北RC)



それでは僭越でございますがご指名をいただきましたので一言閉会のご挨拶を申し上げます。

先般、福井隆一郎ガバナーに於かれましては私どもクラブのガバナー公式訪問を終えられました。その節、福井ガバナーは2640地区の各クラブ公式訪問を出来るだけ「鉄道や交通機関」を使ってクラブ訪問をさせて頂こうと、お考えになっておられることをお聞きし凄いな決意と、各クラブへの熱い情熱をひしひしと感じました。

ガバナーの公式訪問の際の交通機関を通じてのエピソードはまた次の機会に、お聞かせいただくこととして、ガバナーが話された中で特にIM単位での活動を強化しインホームミーティングを通じて、しっかりとロータリーの勉強をというお話をお伺いしました。

今日このように4つのクラブが、合同で例会が開催され、親睦と交流を深めさせていただくことは、ガバナーの意図とする「対話から新しい一歩へ、共に楽しむロータリー」のメッセージとぴったりで素晴らしい、ご企画と実践いただいた各クラブの会長様、幹事様に心より敬意を表します。

64名のロータリアンが一堂に会しての合同例会は本当に意義深いものであったと思っております。

私どもの例会は、いつもは23～25名での例会の開催だけに、このように60数名に上る例会への出席はやはり緊張感があり、他クラブの皆様と親睦と交流を深めさせていただ

くだけで例会出席の価値と、意義を感じました。

ここでよく考えて見ると我々は余りにも自分のクラブだけを見つめ、必死にクラブを守ることに専念して少人数のクラブ組織に慣れ過ぎてしまったのではないのでしょうか。

ロータリーが求める道「超我の奉仕は」やはり多くのロータリアンと共にロータリーの夢を語り、奉仕の理想を求めて活動することが本意ではないのでしょうか。

今日の合同会議でロータリーに対して悶々としていた気持ちが、目から鱗が落ちたような気がします。各クラブの特長は大切に守りながら、ぜひ4合同クラブを通じて、これからロータリーは何をすべきか、何を求めて進むべきかを見出して参りたいと思いません。そして年度内には是非4ロータリークラブの合同例会の開催をご期待申し上げると共に、次回の合同例会では各クラブで一人でも多くの会員が増強されておられることを念じて閉会のご挨拶と致します。

それでは結びに2640地区大会の成功と福井ガバナーの益々のご活躍、各クラブの発展と皆様のご健勝をお祈りして閉会の辞と致します。

終始和やかで、有意義な4クラブ合同例会となり、会の締め括りとしたしまして、出席者全員で「大阪締め」で閉会いたしました。皆さまご協力ありがとうございました。

例会・懇親会の風景



沢山の皆さんにご出席いただき、
賑やかな合同例会となりました。



ランブリング・フェローズさん PROFILE

バンド名 ランブリング・フェローズ「さ迷える仲間たち」という意味。

1995年守口市にて結成。4人でスタート。仕事もバラバラ、年齢もまちまち。音楽経験もベテランから初心者まで様々といった仲間です。でも音を楽しむ気持ちは皆一緒です。現在は、ライブハウス・老人ホーム・学校・お祭り・各種イベントのアトラクション等、お声が掛かればどこでも演奏しています。

NHKバンド自慢コンテスト出演
(NHK恵比寿ガーデンホール)
全国社会人バンドコンテスト3位(厚生年金会館)
ユニセフ寺小屋支援コンサート

等にも出演しています。

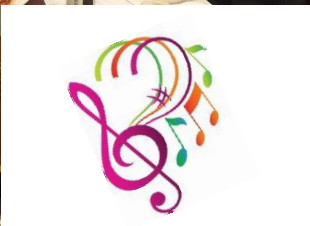
次回当バンド主催のライブは11月3日(木)梅田ニューサントリー5で催します。

メンバー紹介

リーダー・コルネット：吉田平二(堺清陵RC会員)
トランペット：小川あや子 クラリネット：曾川英男
トロンボーン：富岡延雄 ウッドベース：橋本仁孝
バンジョー：多賀谷篤夫 ドラムス：上村耕三
ピアノ&ヴォーカル 畑山紀美代



素敵なミニコンサートありがとうございました♪



「大阪締め」で締め括りました。



今日は贅沢にもランプリング・フェローズさんの生バンドによる「手に手つないで」♪